

# 初石駅東口改札の早期設置を 署名1万筆突破！さらに広げよう



日本共産党流山市議

小田桐たかし

6月22日、初石東地区連絡協議会の役員のみなさんと署名を提出しました。  
左から、西尾市議、戸辺市議、石原副市長、小田桐市議、田原東初石3丁目自治会長、中村市議、若林ときわまつ自治会長、藤井市議、小林東初石1丁目自治会長、石原市議、野田市議。  
署名を受け、6月26日には、井崎市長が東武鉄道（株）へ要請書を提出しました。

流山民報（号外） 18.6.29 発行：日本共産党流山市議団  
連絡先：090-8567-8858

# 大阪府北部地震受け、19日市へ要望書提出



左から、井崎市長、いぬい紳一郎市議、徳増きよ子市議、小田桐たかし市議、植田和子市議

6月18日、大阪府北部を襲った地震や、千葉県沖で連続する地震を受け、日本共産党市議団は緊急要望書を市へ提出。27日の市議会最終日には小田桐たかし市議が緊急質問を行いました。

要望書は以下の通りです。

- 1、本市と災害協定を結んでいる大阪府池田市と隣接した地域が震源地であり、災害応援体制を構築し、早期の救援物資の輸送を行うとともに、職員派遣など想定される取り組みを始めること。
- 2、破損の有無や正常な稼働など市内の各備蓄品の再点検をすること。
- 3、高槻市立の小学校におけるプールの壁の崩落による死傷者が発生したこと

から、市内通学路等に面している小中学校各施設のコンクリート壁について、亀裂や歪み等がおきていないか安全点検を行うこと。

- 4、市内各学校校舎等の詳細診断結果から、改築が必要とされた老朽校舎について、H32年度からの新総合計画で位置づけ・順次実施する計画を1年前倒しすること。

以上

緊急質問に対し、市長は「発災後、19日までに3度の電話連絡を行うとともに、21日には池田市長と直接会う機会にも支援の申し出を伝えてた」「大阪府、池田市からの要請もないことから実施に至っていない」と回答しました。

備蓄品については、「大阪府北部地震後に点検を実施した」「今後も、定期点検に加え、機会を捉え点検に努める」と回答しました。

コンクリート壁については、「公共施設は、必要な補強がされていなかった壁が、小学校で4校、中学校で1校、その他の公共施設で8施設あり、予備費で対応する」と回答。小田桐市議は、自治会にも依拠して、市内全域での調査・実態把握・改善に向けた取り組みを提起しました。

老朽校舎に対しては、「耐震補強を実施し、構造強度を満たしていることから、現時点では、計画の前倒しは実施しない」と答弁があり、引き続き、早期実施を要望しました。

6月26日には、30年以内に震度6弱以上の地震発生率も公表され、流山市での取り組み強化が待たれています。引き続き、減災・防災の強化と同時に、被災地への支援を強めて見ります。